



# 東中だより



No.7 令和元年10月1日 伊丹市立東中学校長 垣内 修

## 平成31年度 伊丹市学習到達度調査及び 全国学力・学習状況調査結果報告

3年生対象に、平成31年4月23日（火）に行われた「伊丹市学習到達度調査」及び平成31年4月18日（木）に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なおこの調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。

（主に全国学力・学習状況調査結果をお知らせ致します。）

【伊丹市学習到達度調査】 社会・理科 各45分

### 〈社会・理科〉

教科総合目標値と本校の平均正答率を比較すると、社会では0.4ポイント、理科では4.8ポイント上回っていました。今後も振り返りや話し合い、また、体験的な学習を充実させ、学習意欲や思考力・判断力・表現力の育成を図っていきます。

※【目標値】学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合をもとに算出。

【全国学力・学習状況調査】

### 1. 学力に関する調査結果について

学力に関する調査 国語 数学 各50分、英語45分 話すこと10分～15分

国語 数学 英語・・・基礎学力（知識）を問う問題、応用力（活用）を問う問題

英語（話すこと）・・・聞くこと、話すことの調査

\*本校と 全国の平均正答率の差が「約」となっているのは、全国平均は少数第一位まで発表されているのに対して、本校の値などは整数で発表されていることによります。

#### 〈国語〉

- 全国の平均正答率（72.8%）と比べると、国語は約3.2ポイント上回っていました。
- 平均無解答率において、全国と本校を比較すると、国語は1.5ポイント低い結果でした。
- 文脈に即して漢字を正しく書く・読むことについては全国平均を大きく上回ったものが多く、「話す・聞く」についても年間を通して学習しており力がついてきています。しかし、「言語文化」について、手紙などの通信文は日常生活で用いることが少なくなったため、他の設問に比べ正答率がやや低くなっています。

引き続きグループワークなどを授業で取り入れ、意見の交換やそのまとめができるようにするとともに、様々な文章を読ませ、情報を整理して把握する力をつけていきます。

#### 〈数学〉

- 全国平均正答率（59.8%）と比べると、数学は約4.2ポイント上回っていました。
- 平均無解答率は全国平均に比べ、数学は2.9ポイント低い結果でした。
- どの分野かに関係なく基礎的な知識を問う問題は6割以上の理解を示していますが、具体的な事象から関数関係を見い出す、数学的な表現を用いて説明する力が不十分です。

引き続き基礎的な内容を理解させるよう徹底するとともに、応用分野を扱う中で、文章で説明させる場面や文章と数式を合わせて説明させる場面を作り、取り組んでいきます。

#### 〈英語〉

- 全国平均正答率（56.0%）と比べると、約4.0ポイント上回っていました。また、（話すこと）の調査では、全国平均正答率（30.8%）と比べると、約4.4ポイント上回って

ました。

- 平均無解答率は全国平均に比べ、英語は 1.3 ポイント低く、(話すこと)の調査では 0.5 ポイント低い結果でした。
- 学習指導要領の領域別において、4 領域ともに全国平均を上回っていますが、まとまった英文を聞き取る力や、まとまりのある英文の大切な部分を読み取り理解する力が不十分です。

与えられたテーマに対して自分の意見や考えを理由をつけて簡潔に述べたり、まとまりのある文章を書く力をつけるためにテーマを与えて書くことを継続して取り入れるとともに、長文読解については、内容把握、サマリーなどを重点的に取り組んでいきます。

## 2. 学習状況調査について

学習状況調査とは、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査のことです。その中の一部の結果を報告します。

- ・「朝食を毎日食べていますか。」という質問では、「している」「どちらかといえばしている」と答えた生徒は 91.9%(全国平均 93.1%)でした。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」という質問では、「している」「どちらかといえばしている」と答えた生徒は 65.7%(全国平均 78.0%)でした。
- ・「自分にはよいところがあると思いますか。」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は 74.3%(全国平均 74.1%)でした。
- ・「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか。」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は 90.1%(全国平均 93.9%)でした。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は 94.6%(全国平均 94.3%)でした。
- ・「学校の規則は守っていますか。」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は 97.8%(全国平均 96.2%)でした。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は 96.8%(全国平均 95.1%)でした。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」という質問では、「している」「どちらかといえばしている」と答えた生徒は 42.8%(全国平均 50.4%)でした。
- ・「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)。」という質問では、「2 時間以上」が 32.5%(全国平均 35.5%)でした。
- ・「1、2 年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は 62.1%(全国平均 74.8%)でした。

生活習慣にかかわる内容では、寝る時間に課題がありました。また、家庭での学習習慣があまり定着していない結果となっています。これから受験勉強に取り組む上で、規則正しい生活リズムが基盤になります。学校でもさらに計画的な学習になるよう意識づけを行い、教科間・学年間連携を図り、3 年生を対象とした補充学習、個別学習、放課後学習の充実に努めてまいります。ご家庭でもなお一層の取り組みをお願いいたします。

また、自己肯定感にかかわる内容では、全国平均をほぼ上回り、自尊感情の育ち高まりが見られました。学校や家庭で一人一人の良いところを認めて、積極的に言葉かけをしていくことが大切であり、日々の授業や行事、部活動等を通して、達成感や充実感を味わうことによって、さらに自信をつけることができるように取り組んでいきたいと考えています。

# 第55回 伊丹市中学校連合体育大会

本校の体育大会に引き続き、前日までは天候が心配でしたが、9月27日（金）伊丹市立伊丹スポーツセンター陸上競技場で第55回伊丹市中学校連合体育大会が行われました。55年の歴史の幕を閉じる最後の大会です。



1年生のリズム体操「夏のどこかへ」は、西中学校、北中学校と3校合同で演技をしました。体育大会からさらに進化した、爽やかでかわいさ一杯、笑顔一杯の演技を披露してくれました。2年生の「東中ソーラン2019」は、2年生全員が心を一つに、波の表現、迫力としなやかさを兼ね備えた、そして魂のこもった見応えのある演技でした。



むかで競走はどの学年も最後まで安定した走りでタスキを繋いで頑張りました。

競走競技では、「あきらめない心」でみんな最後まで一生懸命走り抜いてくれました。1年女子800m走、2年女子800m走で見事1位。また、1年男子1000

m走、2年男子1000m走、1年男子800mリレー、1年女子800mリレー、2年女子800mリレーでは、いずれも3位以内に入る大健闘でした。



東中生の素晴らしい演技・むかで競走・競走競技・応援・観戦態度、どれをとっても輝いていた連合体育大会でした。皆さん本当にご苦労さまでした。そして「感動」をありがとうございました。



## 吹奏楽部 緑丘小学校運動会で演奏



9月28日(土)、第64回緑丘小学校運動会が開催され、そこで、本校の吹奏楽部のみなさんが、開会式のファンファーレと入場行進の演奏を行ってくれました。10月5日(土)には、緑幼稚園の運動会でもファンファーレと入場行進を演奏する予定です。毎年、地元の小学校と幼稚園の運動会で吹奏楽部が演奏してくれていますが、関係者の方や保護者の方にも大変喜んでいただいています。ありがとうございます。